

保育施設における新型コロナ対策 2021年8月

～みなと保健所が区内の保育施設の調査をしました～

2020年の7-10月の調査でわかったこと

- 小さい子が感染するのは、家庭内が多い。親が外でマスクを外したときの会話等で感染し、気づかないうちに家庭で広がっている。
- 子どもは感染しても無症状か軽い風邪症状などの軽症であった。
- 手洗い・咳エチケット・適切な距離の確保などの対策をしている保育施設での生活のなかでは、感染は広がっておらず、クラスター発生はなかった。

この時点でわからなかったこと

- ①無症状の人たちに広く検査をしたら、「見えない感染」が把握されるのか？
- ②新しいタイプのウイルス（デルタ株）によって対策を変える必要があるのか？

2021年4-8月の調査でわかったこと

- 大人での感染が広がった結果、家庭内で感染する子どもの数も増えた。
- 大人やきょうだいはホームパーティなど保育施設外でマスクなしで会話して感染していた。
- デルタ株の感染例が増えているが、こどもが重症化する傾向はなかった。
- 今回の調査期間に、感染の可能性が低い人たちにも積極的に検査を行ったが、2020年と比べてより多くの人々が感染しているような状況はなかった。
- 2020年より行っている感染対策を続けること、プライベートの生活でマスクをはずした会話をする機会を減らす工夫が重要。
- 1例陽性例を把握した時点で、大規模な一斉検査等を行わなくても、施設の消毒・接触した子どもの健康管理を関係者が行い、感染予防強化に協力をする方が、保育サービスの維持に役立つ。



こどもたちの育ちの環境をより安全にするために

周囲のおとながワクチンを打って子どもたちを守りましょう。港区では新型コロナウイルスのワクチンの接種を希望する方、全員が9月末までに接種できるように準備しています。まだ接種していない区民の方は、区公式ホームページ「ワクチン接種特設ページ」をご確認ください。



Twitter
新型コロナウイルス
ワクチン情報

@minato_vaccine



Twitter
みなと保健所

@minato_hokenjyo

みなと保健所 保健予防課
TEL 03-6400-0081